大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和7年度	学校コード	F140310110801	設置等組織名	情報工学部（情報システム学科）
大学名	福岡女学院大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	福岡	事業計画名	福岡女学院大学情報工学部設置計画

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和7年度	0-①2025年12月 基幹教員の採用面接実施（R8.3.18承認） 0-②2026年2月 企業や法人等との事前協議開始前の訪問・顔合わせ（福岡市新産業振興課／公益財団法人 九州先端科学技術研究所／一般社団法人 福岡中小企業経営者協会）（R8.3.18承認）	0-①2025年12月 基幹教員の採用面接実施 0-②2026年2月 企業や法人等との事前協議開始前の訪問・顔合わせ（福岡市新産業振興課／公益財団法人 九州先端科学技術研究所／一般社団法人 福岡中小企業経営者協会）	令和7年度自己評価	【２】計画を十分には実施していない。
				令和7年12月22日付け福女発第160号による事業遅延届のとおり、やむを得ない事情により情報工学部棟の建設計画を見直すこととなり、これに伴い情報工学部の開設時期を延期する必要が生じた。これらは事業の中止や縮小を伴うものではなく、令和7年度から計画している全ての事業について、計画内容を維持したまま1年後送りして実施するものである。（R8.3.18承認）
令和8年度	1-①2026年6月 教育環境の整備（キャンパスマスタープランに沿う学部建屋建設予定地等の検討／必要となる建屋構造（教室・演習室・実習室・スタジオ設備・印刷室等）の検討と設計／必要となる教育設備（PC・ソフトウェアー・３Dプリンター・情報通信設備機器等）の規模とそれらのスペックの確定）（R8.3.18承認） 1-②2026年7月 企業や法人等（公益財団法人 九州先端科学技術研究所／一般社団法人 福岡中小企業経営者協会／株式会社フォーバル）との事前協議（開始）（R8.3.18承認） 1-③2026年8月 入試評価基準策定タスクチームの立ち上げ（R8.3.18承認） 1-④2026年8月 エキスパートレベルの修得を保証するカリキュラムの確定（R8.3.18承認） 1-⑤2026年8月 フェーズ１期間前の予備調査及び企業や法人等との学生の確保と人材育成に関する戦略についての検討結果を受け、専門業者への大規模ニーズ調査発注（R8.3.18承認） 1-⑥2026年8月 教員確保の目途について他大学の連携機関への具体的な交渉の開始（R8.3.18承認）		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度	1後-⑦2026年度から継続 教育環境の整備（R8.3.18承認） 1後-⑧2027年4月 2027年4月基幹教員4名の配置（教員所属部署については暫定的措置とする）（R8.3.18承認） 1後-⑨2027年5月 教育関連機関との連携について検討（R8.3.18承認） 1後-⑩2027年5月 久留米工業大学情報ネットワーク工学科との単位互換制度に基づく共通科目の導入等の連携の実現（R8.3.18承認） 1後-⑪2027年6月 自大学以外の大学との単位互換制度や共通科目の導入に関する具体的で実質的な検討（開始）（R8.3.18承認） 1後-⑫2027年8月 本学の基本的な情報教育としてのMDASH（数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度）のリテラシーレベル・応用基礎レベル教育を設定（R8.3.18承認） 1後-⑬2027年8月 広報活動の開始（入学者選抜実施要領を含む）（R8.3.18承認） 1後-⑭2027年10月 法人・企業との教育連携（講座・研修等の提供、講義科目のオープン化、人材育成実習プログラム（PBL）の共同開催、インターンシップ制度の活用等）について具体的な協議（開始）（R8.3.18承認） 1後-⑮2027年12月 多様な入学者の確保へ向けた取り組みc.~e.の制度設計（R8.3.18承認） 2-①2027年4月～2028年3月 学部建屋建設建築と教育設備整備の調達 地上3階建て延床面積1,764㎡（予定）の学部専用建物を建築 先端技術を備えたＩＣＴ環境の整備（R8.3.18承認）		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度	2後-②2028年4月 教育設備の最終整備（R8.3.18承認） 3-①2028年4月～ 学生確保のための広報の実施（R8.3.18承認） 3-②2028年4月～ 教育充実のための各種事業の実施（R8.3.18承認） 3-③2028年4月~2031年4月 基幹教員6名の配置（2028年度予定）→基幹教員7名の配置（2029年度予定）→基幹教員11名の配置（2030年度予定）→基幹教員14名の配置（2031年度予定）（R8.3.18承認） 3-④2028年4月～ 自大学以外の大学との単位互換制度や共通科目の導入に関する具体的で実質的な検討（継続）（R8.3.18承認） 3-⑤2028年4月～ 法人・企業との教育連携（講座・研修等の提供、講義科目のオープン化、人材育成実習プログラム（PBL）の共同開催、インターンシップ制度の活用等）について具体的な協議（継続）（R8.3.18承認）		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度	3-⑥2031年8月 一般社団法人日本技術者教育認定機構（JABEE）への認定申請（R8.3.18承認）		令和13年度自己評価	リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
令和15年度			令和15年度自己評価	リストから選択してください。
令和16年度			令和16年度自己評価	リストから選択してください。

認可申請 又は届出	2027年1月　情報工学部情報システム学科　設置認可申請予定（R8.3.18承認） 2027年4月　人文学部感性メディア学科　学科の設置届出申請予定		
定員減又は 学部等の廃止	2027年8月人文学部言語芸術学科廃止に係る届出予定（文学関係）（R8.3.18承認） 2027年8月人文学部メディア・コミュニケーション学科廃止に係る届出予定（文学関係）（R8.3.18承認） 2027年8月人間関係学部子ども発達学科25人減員に係る届出予定（入学定員80人、編入学定員3人）（R8.3.18承認） 2027年8月国際キャリア学部国際英語学科5人減員に係る届出予定（入学定員55人、編入学定員2人）（R8.3.18承認） 2028年4月人間関係学部子ども発達学科25人減員予定（入学定員80人、編入学定員3人） 2028年4月国際キャリア学部国際英語学科5人減員予定（入学定員55人、編入学定員2人）		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	福岡女学院大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.本学は予てより社会貢献・連携に力を入れており、近隣自治体や地域産業界と多数の連携協定を締結している。活動内容は、連携先に示された課題(住民啓発、商品開発、地域活性化、販売促進等)の解決、学生派遣、講師招へい等多岐に渡っており、正課科目、正課外活動双方の教育に活かされている。 フェーズ１期間中に、これらの実績を土台とし連携協定締結組織の拡充を図ると同時に、新理系学部科目として教育目標到達に適した貢献課題の設定や取り組み方等について、既に連携科目を開講している他大学から学ぶ予定である。なお、他大学での授業見学やシラバス等による情報収集には、既に着手している。 b.情報工学が急速かつ劇的に変革が進む領域であること、加えて本学にとっては初めての理系であることから、関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目を是非ともカリキュラムに組み込みたい。 フェーズ１期間中に、既述の大学を含めた複数の大学と単位互換制度や共通科目(相互乗り入れ講義や高度機器を使用する実習及び基礎的なオンデマンド教材の活用等)の導入を含めた連携の推進と強化を検討する。また、対面以外にも、WEBでの出席、仮想空間を活用した時間の共有等、授業形態の多様化にも挑戦する。なお、既に幾つかの大学とは非公式レベルではあるが情報を交換している。	2026年度をフェーズ１の期間として計画変更。（R8.3.18承認）随時計画を進めている。 a.　福岡市及び九州先端科学技術研究所を訪問し、地域の課題を解決するPBL等の授業に、学生派遣や講師の招聘等、多岐に渡る連携について協議を始めている。 b.2026年4月より、福岡県内の工業大学と教育連携に向けた協議を開始した。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.文系学部のみで構成される本学の入学者選抜実績を基に、新理系学部対応として選抜科目の抜本的な検討を行う。特に、数学・情報・理科科目の取り扱いは、志願者層を保持しながらも入学者受け入れ方針に適合した学生を獲得するために慎重に検討する必要がある。既に、現在までの本学入学試験において、共通テストで選択された科目の分析に着手している。フェーズ１期間には、入学実績の高い高校を中心に受験科目に関する調査実施を行う。 b.本学は女子大であることから100%女子学生となる。既述のように、潜在的理系志願女子の掘り起こし活動の一環として、高校生を対象としたイベント(オープンキャンパス含む)をフェーズ１期間中に企画・実施する予定である。 c.毎年複数の中学校・高等学校への出前授業、大学訪問受け入れ時における体験講義の実施を行っている(2024年度実績は26件)。次年度及びフェーズ１期間中は、これらに理系科目を付加し展開する。 d.現在までも社会人学生の受け入れに取り組んでいるが、就業に直結しやすい情報工学系学部設置を機に、オンデマンド授業の導入等、社会人学生の受け入れ強化についてフェーズ１期間中に検討する。 e.本学では、既にアジアからの留学生を中心に世界各地から留学生を受け入れており、特に交換留学締結大学からの受け入れが多数を占める(2024年度在籍留学生数は45名)。また、入学者選抜には外国人枠を設定している(2024年度受験者数は23名)。この制度を活用し、新理系学部でも留学生を積極的に受け入れる予定である。	2026年度をフェーズ１の期間として計画変更。（R8.3.18承認）随時計画を進めている。 a.2026年4月より、入学者受け入れ方針に適合した学生を獲得するために、新理系学部における選抜科目の検討を開始した。 b.潜在的理系志願女子の掘り起こし活動の一環として、高校生を対象とした2026年度開催予定のオープンキャンパスにおいて、著名な科学ジャーナリストや企業で活躍されいている情報技術者等、第一線で活躍する女性を招聘し、情報化社会における女性の役割の重要性についての講演・懇談の企画を立案している。 c.中学校・高等学校への出前授業、大学訪問受け入れ時における体験講義における提供科目に理系科目を付加し、中高生へ提供する体制を整えた。 d.オンデマンド授業の導入等、社会人学生が学びやすい環境の推進について検討を進めている。 e.新理系学部においても留学生を積極的に受け入れるため、入学者選抜における外国人枠の制度を活用することについて検討している。	

大学名	福岡女学院大学

１.本事業対象となる学部等の状況

<合計>

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	福岡女学院大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	情報工学部情報システム学科（工学関係）

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	福岡女学院大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	福岡女学院大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	560	560																	
		入学者数	人	523	542																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	560	560																	
		入学者数(B)	人	523	542																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.93	0.97																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	2,284	2,284																	
		編入学定員	人	22	22																	
		在籍者数(D)	人	1,912	1,975																	
		編入学者数	人	11	20																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.84	0.86																	

４.外部資金の状況（全学）

改組状況	R1年度 申請-5年	R2年度 申請-4年	R3年度 申請-3年	R4年度 申請-2年	R5年度 申請-1年	R6年度 申請	R7年度 選定	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	21,859	17,963	12,080	6,160	6,074	5,829	3,684												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	12,068
本事業による助成金の額(F)	千円	632,213
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	27,873

特記事項